



## 2020年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年12月9日

上場会社名 ライクキッズ株式会社  
 コード番号 6065 URL <https://www.like-kn.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 大介

TEL 03-6431-9899

四半期報告書提出予定日 2019年12月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年4月期第2四半期の連結業績(2019年5月1日～2019年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第2四半期	10,812	10.1	310	52.9	393	47.8	277	46.4
2019年4月期第2四半期	9,820	16.7	658	58.2	754	21.3	517	17.8

(注) 包括利益 2020年4月期第2四半期 285百万円 (46.2%) 2019年4月期第2四半期 530百万円 (16.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第2四半期	26.46	23.17
2019年4月期第2四半期	49.37	43.23

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期第2四半期	17,152	6,639	38.7	633.39
2019年4月期	18,440	6,353	34.5	606.14

(参考) 自己資本 2020年4月期第2四半期 6,639百万円 2019年4月期 6,353百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期		0.00		0.00	0.00
2020年4月期		0.00			
2020年4月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	11.0	600	27.7	2,400	12.7	1,525	23.5	145.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年4月期2Q	10,482,000 株	2019年4月期	10,482,000 株
2020年4月期2Q	219 株	2019年4月期	186 株
2020年4月期2Q	10,481,792 株	2019年4月期2Q	10,481,815 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題を巡る緊張や中国経済の先行き等の海外経済の動向や、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復が続くことが期待されております。

保育業界におきましては、政府が待機児童を2020年度末にゼロにする目標を掲げておりますが、10月には幼児教育・保育の無償化も開始し、更なる受け皿の拡大を推進すべく、政府や自治体による施設の整備や保育士の賃上げ支援等、保育施設の新規開設と保育士の確保を推進するための様々な施策が検討されております。

このような状況のもと、当社グループでは、親会社であるライク株式会社の連結子会社で総合人材サービス事業を営むライクスタッフィング株式会社との連携により、保育士の採用力と定着率の向上を図り、認可保育園・学童クラブ等の公的保育施設の開設と、事業所内保育施設の運営受託の強化と収益性の改善、利用者様から選ばれ続ける質の高い保育サービスの提供と研修コンテンツの拡充による保育業界における人材の創出に注力いたしました。

また、2019年10月1日に、当社は「ライクキッズ株式会社」へ商号を変更いたしました。

当第2四半期連結累計期間において新たに開園した施設は2施設で、セグメント別の内訳は下記の通りであります。

(受託保育事業)	合計1施設
・企業内保育施設	合計1施設
兵庫県 1施設 (川西市1施設)	
(公的保育事業)	合計1施設
・認可保育園	合計1施設
東京都 1施設 (中野区1施設)	

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は108億12百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は3億10百万円（同52.9%減）、経常利益は3億93百万円（同47.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億77百万円（同46.4%減）となりました。

2020年4月に21ヶ所の認可保育園の開設を予定しており、賃料や設備、人件費等の先行投資があり減益となっておりますが、計画を上回っていることから通期業績予想に影響はないと考えております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## (受託保育事業)

受託保育事業におきましては、企業・病院・大学等が設置する保育施設を受託運営しておりますが、2017年4月の契約更新分から毎年契約を見直しており、全体の受託数は減少したものの、多くの施設で適正な利益での契約更改が成功した結果、減収増益となりました。また、従業員様向けに企業が設置する事業所内保育施設の運営受託に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18億15百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は1億65百万円（同10.8%増）となりました。

## (公的保育事業)

公的保育事業におきましては、立地等の条件面でも保育の品質においても利用者様に選ばれ続ける認可保育園や学童クラブ等の新規受注と開設に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は89億96百万円（前年同期比13.3%増）、認可保育園において売上に計上する運営補助金の加算額が前年同期より減少したこと、新規開設に向けた人材の確保が好調で人件費が増加していることから、営業利益は7億13百万円（同27.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、171億52百万円（前期末比12億87百万円減）となりました。

流動資産につきましては、48億69百万円（同13億30百万円減）となりました。これは、受取手形及び売掛金が3億28百万円、未収入金が7億6百万円減少したためであります。

固定資産につきましては、122億83百万円（同42百万円増）となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の敷金が増加したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、105億13百万円（前期末比15億73百万円減）となりました。

流動負債は46億16百万円（同10億77百万円減）となりました。これは、主に短期借入金が3億円、未払法人税等が3億4百万円、未払金が1億27百万円減少したためであります。

固定負債につきましては、58億97百万円（同4億96百万円減）となりました。これは、主に長期借入金の返済により5億2百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、66億39百万円（同2億85百万円増）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億77百万円による利益剰余金の増加によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年6月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,810,744	3,583,014
受取手形及び売掛金	1,265,522	937,466
原材料及び貯蔵品	425	425
未収入金	715,710	9,150
その他	411,657	344,116
貸倒引当金	△4,259	△4,579
流動資産合計	6,199,800	4,869,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,903,458	11,015,305
減価償却累計額	△2,486,575	△2,799,167
建物及び構築物(純額)	8,416,883	8,216,137
リース資産	930,371	930,371
減価償却累計額	△209,708	△255,270
リース資産(純額)	720,662	675,101
建設仮勘定	145,839	356,698
その他	712,813	730,088
減価償却累計額	△433,490	△490,115
その他(純額)	279,323	239,972
有形固定資産合計	9,562,709	9,487,910
無形固定資産	81,522	99,408
投資その他の資産	2,596,552	2,695,782
固定資産合計	12,240,784	12,283,101
資産合計	18,440,585	17,152,695

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,650,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,054,905	1,008,380
リース債務	37,508	37,896
未払金	992,723	864,964
未払法人税等	512,798	208,773
未払消費税等	90,731	71,466
前受金	425,181	372,651
賞与引当金	448,117	554,186
その他	481,985	148,196
流動負債合計	5,693,950	4,616,515
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	4,051,945	3,549,191
リース債務	659,521	640,475
退職給付に係る負債	238,982	258,043
資産除去債務	442,752	449,447
固定負債合計	6,393,200	5,897,157
負債合計	12,087,151	10,513,672
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	285,771	285,771
資本剰余金	510,439	510,439
利益剰余金	5,564,584	5,841,895
自己株式	△139	△174
株主資本合計	6,360,655	6,637,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	96
退職給付に係る調整累計額	△7,315	994
その他の包括利益累計額合計	△7,221	1,091
純資産合計	6,353,434	6,639,023
負債純資産合計	18,440,585	17,152,695

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
売上高	9,820,553	10,812,518
売上原価	8,054,878	9,209,076
売上総利益	1,765,674	1,603,442
販売費及び一般管理費	1,107,297	1,293,078
営業利益	658,377	310,363
営業外収益		
受取利息	3,425	3,605
設備補助金収入	95,888	102,033
その他	15,283	7,860
営業外収益合計	114,596	113,499
営業外費用		
支払利息	18,221	19,464
補助金返還額	-	9,117
その他	239	1,348
営業外費用合計	18,460	29,930
経常利益	754,513	393,932
特別損失		
固定資産売却損	-	20
固定資産除却損	-	35
特別損失合計	-	55
税金等調整前四半期純利益	754,513	393,876
法人税等	237,025	116,565
四半期純利益	517,487	277,311
親会社株主に帰属する四半期純利益	517,487	277,311

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益	517,487	277,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	2
退職給付に係る調整額	13,465	8,310
その他の包括利益合計	13,446	8,312
四半期包括利益	530,934	285,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	530,934	285,623

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	754,513	393,876
減価償却費	329,120	428,856
設備補助金収入	△95,888	△102,033
固定資産除却損	-	35
固定資産売却損益(△は益)	-	20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	124	319
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,355	106,069
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	31,031	31,039
受取利息及び受取配当金	△3,425	△3,605
支払利息	18,221	19,464
売上債権の増減額(△は増加)	252,297	328,056
未払金の増減額(△は減少)	△172,853	△127,820
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,384	△19,265
前受金の増減額(△は減少)	△108,855	△52,530
その他	△237,619	△394,173
小計	810,406	608,309
利息及び配当金の受取額	3,425	3,605
利息の支払額	△18,951	△20,364
法人税等の支払額	△527,298	△259,794
設備補助金の受取額	596,988	797,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	864,570	1,129,492
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△671,638	△331,050
有形固定資産の売却による収入	-	200
無形固定資産の取得による支出	△4,772	△26,410
長期貸付けによる支出	△45,000	△15,000
敷金及び保証金の差入による支出	△100,130	△100,493
敷金及び保証金の回収による収入	4,918	2,382
その他	△29,600	△19,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△846,223	△490,325
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△750,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△559,699	△549,279
リース債務の返済による支出	△14,380	△17,505
自己株式の取得による支出	△2	△34
配当金の支払額	△583	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,324,666	△866,897
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,306,319	△227,730
現金及び現金同等物の期首残高	3,434,141	3,790,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,127,822	3,563,014

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年5月1日 至 2018年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,878,320	7,942,232	9,820,553	—	9,820,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,878,320	7,942,232	9,820,553	—	9,820,553
セグメント利益	149,183	983,601	1,132,785	△474,408	658,377

（注）1. セグメント利益の調整額△474,408千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年5月1日 至 2019年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,815,957	8,996,560	10,812,518	—	10,812,518
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,815,957	8,996,560	10,812,518	—	10,812,518
セグメント利益	165,295	713,834	879,130	△568,766	310,363

（注）1. セグメント利益の調整額△568,766千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。